

へければ、國中再び植弘めしにより、國中の蠟燭鬚付國産にて賄ひ、餘分の生蠟領主より御買上となり、大坂へ積寄せ、御藏物として、一ケ年の賣高凡五千貫目餘宛有よし承る、或は生蠟にて七八十萬斤づ、毎歲積登る國あり、是に准じ九州中國四國紀伊杯より多く作出せり、

〔薩藩經緯記〕下貴國摩○薩ハ黃蠟甚多ク、蠟ヲ搾テ他國ニ輸スモ亦極夥シ、熟按ニ、初メ日本ニハ紅

葉蠟ノミ有テ、蠟燭ハ無カリシヲ、今ヲ距コト百六十年許前、延寶元癸丑ノ年、當藩ニ異國人來テ

種子ヲ與ヘ、櫻島小川ノ地ニ植サセ、蠟ヲ搾ルコトヲ教シヨリ、漸ク諸國ニ弘リ、今ハ江戸ノ都下

モ、赤羽根牛込、阿武等ノ地ニ植ルコト、ハ成レリ、ヨク作ルトキハ數多ノ蠟出テ、信ニ國家ノ寶

ナリ、且此物ハ氣候ノ温ナルヲ好ム者ニテ、第十五番以下ナル冷地ニ作ルトキハ、培養ノ術ヲ盡

スニ非レバ實ヲ結ブコト少シ、故ニ蠟ヲ作ル國々多シト雖ドモ、當國ノヨク成熟スルニ如ク者

ナシ、當國ハ培養ヲ勞セズトモ、甚ヨク生長シテ實ノ生コトモ、蠟ノ出ルコトモ多キヲ以テナリ、

然レドモ當國ノ百姓ハ、蠟ヲ作テ實ヲ採ルコトヲ嫌フ者多シ、何ントナレバ蠟ヲ作テ實ヲ採テ、

此ヲ賣ルト雖ドモ、買上ノ直段甚下直ニシテ、骨折損ナルヲ嫌ナリ、又此ヲ貴ク買上テ蠟ヲ搾ル

トキハ、大坂表ノ仕切時價、他國ノ蠟ヨリ格外ニ賤ヲ以テ、蠟蠟局ノ損毛多キコト有リ、貴國ノ蠟

ハ性合モ宜ケレドモ、他國ノ惡蠟ヨリモ大坂ノ仕切恒ニ賤ク、大坂ノ町人共、奸計ヲ行テ、貴藩ノ

ト下ニ詳ニ論ズ、故ニ他國ニテハ追々ニ此木ヲ植エ立テ、培養ニ骨ヲ折テ生長セシムル事ナル、貴藩ノ

百性ハ此ヲ邪魔ニシテ、或ハ此ヲ伐採テ薪ニシ、或ハ實ノ成タルヲモ採ズシテ、徒ニ腐ラシムル

コト多シ、歎息スベキノ事ナリケル、太夫此等ノ事ヲ熟察シテ、大坂厩倉ノ改革スレバ、國産ノ出

ルコト漸々減ズルノ患アラン、又奥羽關東北越等諸州ハ、漆樹子ヨリ蠟ヲ搾ル、漆蠟モ上品ナル

者ナリ、漢土ニテハ漆子ヨリ蠟ヲ搾ルコトヲ知ラザルガ故ニ、本草ヲ始テ諸ノ物産書ニ、絶テ漆

樹子ニ蠟多キヲ論ジタルコト見エズ、唯蠟ヲ植テ蠟ヲ搾ヲ專務トス、貴藩ノ如ク蠟ニ合應ノ土